

資料

■資料 1：従前計画概要

①足寄町住宅マスタープラン [平成15年度策定]

◆計画期間

平成16年度～平成22年度まで [7カ年]：その後平成32年度までを構想期間とする

◆住宅施策の目標

地域・住宅事情、上位計画・関連計画、国及び北海道の住宅施策の方向性を踏まえ、足寄町の住宅施策の展開は、以下の4つを基本目標として、具体的施策を展開します。

【4つの基本目標】

【基本的な展開方向】

1. 子供からお年寄りまで、
地域で安心して暮らすことのできる住まいの実現

①少子高齢社会を支える住まいづくりへの支援
②多様なライフスタイルに対応した、住まいづくりへの支援
③安全安心に生活できる住宅取得への支援

2. 居住ニーズに対応した、
良質な住宅ストックの形成

①高齢社会に対応した住宅の供給
②居住水準の向上を目指した、良質な住宅の新規供給の推進
③良質な住宅ストックの適正な維持・管理の推進
④地域住宅需要に応じた公共賃貸住宅の確保

3. 市街地の再編や地域活性化
に寄与する住まいづくり

①少子高齢の地域社会を支える近隣コミュニティ空間の形成
②まちづくりと連携した住宅・住宅地づくりの推進
③足寄町に根づいた住まいづくりの推進
④地域の住宅産業を活性化する環境づくりの促進

4. 自然環境との共生を重視した
住まいの実現

①環境への負荷を低減する住まいづくりの推進
②循環型住宅市場を支える技術の、活用・促進

② 足寄町公営住宅ストック総合活用計画 [平成15年度策定]

◆計画期間

平成16年度～22年度までの7年間

◆足寄町ストック活用の基本目標

<高齢社会における先導的な住宅づくりの提案>

- 高齢社会における先導的な住まいづくりを推進します。
- 室内環境が健康的な公営住宅づくりを推進します。

<民間住宅では供給困難な需要に対する、良質な住宅ストックの形成>

- 高齢社会に対応した公営住宅を供給します。
- 建替事業による、良質な公営住宅の新規供給を推進します。
- 住替え市場の形成のため、公営住宅ストックを適正に維持・管理します。
- 地域住宅需要に対応した公営住宅整備を推進します。

<地域活性化や市街地整備に寄与する公営住宅整備の推進>

- 少子高齢の地域社会を支える近隣コミュニティを形成するため施設整備を充実します。
- 公営住宅整備を通じた足寄町に根づいた住まいづくりを推進します。
- 地域活性化に寄与する公営住宅・団地づくりを推進します。
- 公営住宅整備を通し、地域の住宅産業を活性化する環境づくりを促進します。

<自然環境との共生を重視した住まいづくりの先導的実践>

- 環境への負荷を低減する住まいづくりの先導的な取組みを推進します。
- 足寄ならではの集合住宅を提案します。～ペレット暖房の導入検討など～
- 循環型住宅市場を支える技術活用を先導的に実践します。

<公営住宅の適正な管理推進>

- 建替事業の推進に併せ入居者管理を充実し、ストックバランスの改善を図ります。

■資料2. 将来の住宅需要の推計

1. 人口の将来推計について

人口の将来推計にあたっては、国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口（平成20年12月推計）」による推計値を採用しています。

人口は、平成32年には6,559人、平成42年には5,374人と推計されています。

●足寄町 人口の将来推計

	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)	平成37年 (2025年)	平成42年 (2030年)
総人口	8,317	7,731	7,155	6,559	5,954	5,374

(平成17年度：国勢調査実数値。その他：推計値)

2. 世帯数の将来推計について

世帯数の推計については、北海道の世帯当たり人員の推計から、換算値として足寄町の世帯当たり人員を推計し、人口推計の割り返しとして、世帯数を推計します。

① 北海道の平均世帯人員

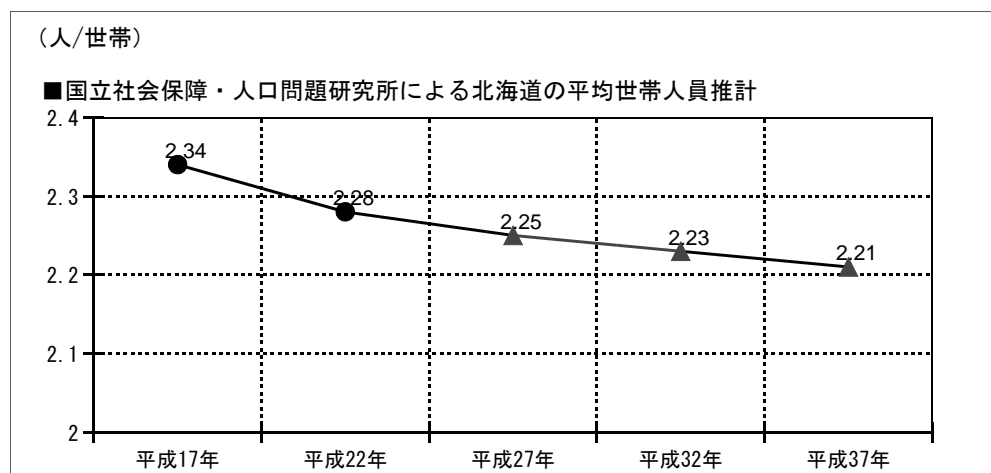
国立社会保障・人口問題研究所による、北海道の「平均世帯人員」^{※1}の推計は、以下のようになっています。

◆国立社会保障・人口問題研究所による北海道の世帯当たり人員推計（人／世帯）

	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)	平成37年 (2025年)
世帯人員	2.34	2.28	2.25	2.23	2.21

(H17年は国勢調査実績)

※1：この世帯当たり人員は「平均世帯人員」として人口問題研究所で公表している数値のことで、「一般世帯」、「主世帯」などの設定はありません。



②足寄町の一般世帯の世帯あたり人員の推計

平成17年度国勢調査では、足寄町の一般世帯の世帯あたり人員は2.33人／世帯となっています。

足寄町の将来の世帯あたり人員は、今後北海道の「平均世帯人員」の数字と同様の割合で変化すると想定すると「北海道の平均世帯人員×1.004＝足寄町の世帯あたり人員」となり、同町の世帯あたり人員は、平成32年に2.24人になると推計されます。(表中a.)

③足寄町の総世帯数

将来の総世帯数は、②の世帯あたり人員で人口推計値を割り返し、平成32年の世帯数を、2,870世帯と想定します。

■総世帯数推計

	平成17年 (2005年)		平成32年 (2020年)	
総人口	8,317人		6,559人	
a. 世帯あたり人員	2.33	北海道の×1.004	2.24	← 2.23×1.004
b. 総世帯数	3,501世帯		2,870世帯	← 6,559/2.24×98%
北海道の平均世帯人員	2.34		2.23	

(H17年は国勢調査実績)

3. 住宅に住む世帯数（主世帯数）と所有関係別世帯数について

①主世帯数について

足寄町の総世帯数の内、「住宅に住む」世帯数（「主世帯」数）の割合は、平成17年度国勢調査の実績値で、97.4%程度でした。(3,411世帯／3,501世帯)

この傾向が今後も続くと想定し、足寄町の将来の主世帯数は下表③のように、862世帯程度と設定します。

②所有関係別世帯数について

今後も現在とほぼ同様の割合で変化すると捉えると、将来の所有関係別世帯数は、以下のように想定されます。

		平成17年 (2005年)		平成32年 (2020年)	
総人口		8,317		6,559	
総世帯数		3,501		2,870	②による
③主世帯数		3,411	→ 総世帯数の 97.4%	2,795	→ 総世帯数の 97.4%
所有 関係 別 世 帯 数	持ち家	2,237 (65.6%)		1,834 (65.6%)	
	公営借家	406 (11.9%)		332 (11.9%)	
	民営借家	470 (13.8%)		386 (13.8%)	
	給与住宅	298 (8.7%)		243 (8.7%)	